

おばま



市議会だより

No. **132**



編集・発行 小浜市議会広報委員会

工事中の北館【7月10日】



廊下



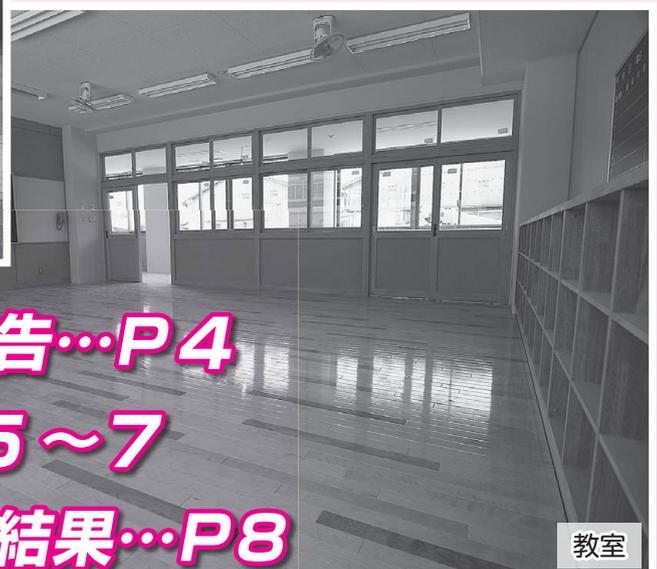
技術室

議会報告会を開催…P2

6月定例会の委員会審査報告…P4

市政を斬る!一般質問…P5~7

6月定例会の各議員の表決結果…P8



教室

表紙：完成間近の小浜中学校北館

http://www1.city.obama.fukui.jp/obm/gikai/frame_top.htm

議会報告会を開催



【とき】 5月26日(土) 19時～
【ところ】交流ターミナルセンター
【参加者】32名



5月26日、27日に開催しました議会報告会。3月定例会、議会活動などの報告や市民の皆様との意見交換のために開催し、夜間にかかわらず、2日間で80名の参加がありました。

参加者からの

質問・意見

意見 小浜市民の命と財産を守るようなことは、徹底的に行政と議論してほしい。

意見 安全で安心できるまちづくりを進めてほしい。

・ 議会用語や役所用語が多く、一般人にはわかりにくい
・ このような場を設けらることは大変いいことだと思う
・ 勉強不足の議員が多すぎる

意見 今の市民感覚は魅力ある議会、市民の議会という方向に進んでいるので、小浜市議会も頑張って議会改革に取り組んでほしい。

意見 議員ひとりひとりが地域だけでなく、小浜市全体に目を向けていただきたい。

【今回の議会報告会】

評価する 33名

どちらともいえない 17名

評価しない 8名

無回答 6名

【自由記述意見】

答 本日いただいた意見は議会改革特別委員会で検討し、現在策定中の議会基本条例に生かしていきたい。

答 理事者側が各地区で夢トークを開催していますので、それに議員が参加し、全体の課題を理解し、今後の政策に生かしていきたい。

・ 本日の議会報告会は行政の代弁者にしかすぎず、行政と議会との関わりによる報告会にしてほしい

・ 回数を増やしてほしい。できれば首長と共催してほしい

・ 理事者側の考え方に対して、議会の中でどのような議論になっているのかもつと聞きたい

次回開催予告

11月17日に、西津、内外海、国富の各公民館で議会報告会を実施予定です。詳しくは次回号でお知らせします。



・ 報告会の前に小懇談会などを開き、市民の意見を聞いてはどうか

6月定例会 概要

平成24年第2回定例会を、6月4日から26日までの会期で開催しました。

今定例会では一般会計補正予算案をはじめ、条例その他人事案件などの議案が提出され、いずれも慎重に審査した結果、全件可決しました。

また、初日には、松崎市長が1期4年間の任期最後の定例会を迎えるに当たり、これまでの取り組み状況を述べました。議決の内容は次のとおりです。

人事案件に同意

【公平委員会委員】

澤田 收一郎氏

【固定資産評価審査委員会委員】

地村 太市郎氏

【人権擁護委員】

中嶋 昭義氏

赤坂 修代氏

◎議案の議決状況

(詳しい議決結果は、8ページまたは議会ホームページでご確認ください)

区分	可決件数	可決議案の主な内容
予算	1件	24年度一般会計補正予算(第1号)
条例	3件	小浜市住民基本台帳カードの利用に関する条例の制定について ほか
その他	18件	専決処分につき承認を求めることについて ほか

【用語説明】
 ※趣旨採択
 願意は妥当であるが、実現性の面で確信がもてないといった場合に、不採択とすること
 もできない請願や陳情に対する決定の方法

◎可決した会計別補正予算額

会計区分	補正予算額	補正後の予算額
一般会計	138,270千円	13,930,800千円

◎陳情の議決状況

件名	審査結果
T P P交渉への参加反対に関する要請書	趣旨採択*
消費税増税に反対する意見書を求める陳情書	採 択
拉致問題意見書を求める陳情書	採 択
農業・農村の安全対策と農業の発展に向けた要請	趣旨採択*



避難所生活を視察【いわき市】

5月14日、15日に原子力発電所安全対策特別委員会の管外視察を実施しましたので、その概要をお知らせします。

◎福島県双葉郡広野町

広野町は、福島第二原子力発電所の準立地自治体で、3月1日に役場機能を広野町内に戻したばかり。町民はまだ6%ほどしか帰還していません。大部分は隣接のいわき市での避難所生活を強いられている状況です。町長や議長からは、震災当日

の様子や被害の状況、復興に向けた取り組みの説明を受けました。

その後は、町内の火力発電所や未だ残る津波の爪痕、避難所の仮設住宅やそこに住む住民の生の声を確認し、震災の恐ろしさを痛感しました。

◎福島県双葉郡大熊町会津若松出張所

福島第一原子力発電所の立地自治体である大熊町は、現在も町内全域が放射能汚染で帰還できない状態です。

役場機能のある町外の会津若松市内で復旧復興の取り組みの説明を受けました。

◎東北電力柳津西山地熱発電所

自然エネルギーの利用というところで、地熱発電所としては最大規模である東北電力柳津西山地熱発電所を視察。

6月定例会の委員会審査報告

◎ 予算決算常任委員会

◎ 審査結果

議案第51号

平成24年度小浜市一般会計補正予算
(第1号)

原案可決とすべき

◎ その他の常任委員会

◎ 総務民生分科会

Q 法人市民税の還付のため、2,000万円の補正だが、対象の大型法人は複数なのか。

A 今回の補正は1社のみで、今後増える可能性はあるが、当初予算と合わせて4,000万円の中で対応していく。

Q 協働のまちづくり地域担い手育成事業の詳細は。

A 24年度単年度で実施する事業で、NPO法人WACにおぼまへ事業を委託し、市とWACおぼまで協働して事業に取り組み。大きくわけて2つの事業があり、各まちづくり委員会のスキルアップを図るものと、地域のいろいろなコミュニティ組織が連携して行うモデル事業がある。

◎ 産業教育分科会

Q 人魚の浜東駐車場と西駐車場の清掃協力金の設定はどのように決めたのか。

A 清掃協力金で駐車場の維持管理に充てるのを原則にしている。他の海水浴場は一律1,000円徴収しているが、そこまですると路上駐車も増え、また、小浜公園駐車場などの無料駐車場もあることから、普通車両500円、大型車両1,000円、二輪車300円の清掃協力金をお願いする。

Q 鳥獣害防止のため、金網柵の設置が進んでいるが、未設置の集落に被害が集中するのではないか。

A 集落すべてを囲んでしまうことは、物理的にも、財政的にも不可能であるため、先に大きな集落を囲んでしまう。囲まないところに被害が集中する恐れに

ついては、状況に応じ、地元の要望にも応じて囲んでいく必要があるが、自力施工の場合は、地元の皆さんに囲っていただく必要があるため、地域の合意形成が必要となる。



◎ 予算決算常任委員会全体会

Q 小浜第二中学校の消火栓の修繕で、腐食が進み、状態がよくないことは写真でわかるが、現状でも消火栓の役割を果たしているのか。

A 毎年、消防署の点検で基準の水圧は消火栓から出ていることは確認している。新しい水が入ってしまうと腐食が進むため、早急の修繕が必要である。

委員の異動

(6月4日)

総務民生常任委員会

(9名)

新委員 藤田 靖人

西本 清司

今井 伸治

※旧委員

小澤・松崎・風呂

産業教育常任委員会

(9名)

新委員 小澤 長純

松崎 圭一郎

風呂 繁昭

※旧委員

藤田靖・西本・今井

原子力発電所安全対策特別委員会 (9名)

新委員 風呂 繁昭

※旧委員 池田

議会改革特別委員会

(9名)

新委員 池田 英之

※旧委員 風呂